

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—
話・聞：話す・聞く能力
書 く：書く能力
読 む：読む能力
言 語：言語についての知識・理解・技能

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)				
A 話すこと・聞くこと(1) 2年エ	1	一 話の内容を正確に聞き取ることができる。		話・聞	70.0	73.9				
A 話すこと・聞くこと(1) 1年イ		二 発表の内容を伝える工夫について選択することができる。	◇	話・聞	60.0	36.6				
A 話すこと・聞くこと(1) 1年エ		三 聞き取った内容と関連付けながら、自分の考えをまとめることができる。	◇	話・聞	40.0	25.8				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) 1年ウ(ア)(イ) 2年ウ(ア)(イ)	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔簡潔(かんけつ)〕を正しく読むことができる。		言 語	80.0	95.5				
		(2) 文脈の中で漢字〔拝(おが)む〕を正しく読むことができる。		言 語	80.0	96.4				
		(3) 文脈の中で漢字〔殺物(こくもつ)〕を正しく読むことができる。		言 語	60.0	93.9				
	(1) 文脈の中で漢字〔てんじ(展示)〕を正しく書くことができる。		言 語	70.0	67.4					
	(2) 文脈の中で漢字〔そ(浴)つて〕を正しく書くことができる。		言 語	50.0	74.2					
	(3) 文脈の中で漢字〔ごくひ(極秘)〕を正しく書くことができる。		言 語	50.0	69.0					
	三 臆感	誤って使われてる漢字を正しい漢字に改めることができる。	◇	言 語	40.0	27.6				
◇	言 語	50.0	24.6							
伝統的な言語文化に関する事項(1)1年ア(ア)	3	一 訓読のきまりに基づいて、書き下し文に直すことができる。		言 語	70.0	33.3				
C 読むこと(1)1年ウ		二 書き下し文を読んで、大体の内容を捉えることができる。		読 む	50.0	65.3				
C 読むこと(1)1年オ		三 辞書の意味を活用して、短文を作ることができる。	◇	読 む	40.0	31.5				
国語の特質に関する事項(1)1年イ(エ)	4	①		言 語	70.0	28.0				
		②					単語の類別について理解し、品詞に分類することができる。	言 語	80.0	48.1
		③					言 語	50.0	36.1	
国語の特質に関する事項(1)2年イ(ウ)	二	文の成分について理解し、主述の関係を捉えることができる。		言 語	50.0	17.3				
C 読むこと(1)1年カ	三	a	◇	読 む	60.0	42.4				
		b					資料から必要な情報を集め、分かりやすく伝えることができる。	読 む	40.0	29.0
C 読むこと(1)1年ア	5	一		読 む	65.0	51.2				
C 読むこと(1)1年ウ		二					文脈の中における語句の意味を理解することができる。			
C 読むこと(1)1年ウ、エ		三					場面の展開や情景をとらえながら読み、内容を理解することができる。			
C 読むこと(1)1年エ、オ		四					場面の展開や登場人物の心情をとらえながら読み、自分の考えをもつことができる。			
C 読むこと(1)1年イ	6	一	◇	読 む	50.0	36.2				
C 読むこと(1)1年イ		二					文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもち、文章に表れているものの見方や考え方を自分のものの見方や考えに取り入れることができる。			
C 読むこと(1)1年エ 2年ウ		三					段落の相互関係を正しく押さえて読むことができる。			
C 読むこと(1)2年エ		四					文章の展開に即して内容を的確に捉えることができる。			
C 読むこと(1)1年イ	7	一	◇	書 く	60.0	39.1				
C 読むこと(1)1年イ		二					文章の構成や展開、表現の特徴について捉えることができる。			
C 読むこと(1)1年エ 2年ウ		三					文章と図との関連について、自分の考えをもつことができる。			
C 読むこと(1)2年エ		四					「学芸員になったわけ」を説明するために必要な情報を資料から集め、構成を考えながら文章にすることができる。			

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
1	一	内容の聞き取り	70.0	73.3	73.1	77.0	74.3	73.7	87.2	66.9	
	二	発表の内容を伝える工夫の選択	60.0	36.7	36.3	42.9	35.5	35.5	36.4	35.1	
	三	聞き取った内容と関連づけてまとめる	40.0	27.5	27.9	21.7	25.1	22.2	34.3	22.5	
2	一	(1)	〔簡潔（かんけつ）〕の読み方	80.0	95.5	95.3	98.1	94.3	93.2	95.6	94.8
		(2)	〔拝（おが）む〕の読み方	80.0	97.7	97.7	97.5	95.4	95.7	95.6	94.8
		(3)	〔穀物（こくもつ）〕の読み方	60.0	93.5	93.6	91.9	91.9	92.5	92.3	90.9
	二	(1)	〔テンジ（展示）〕の書き方	70.0	70.0	69.9	71.4	57.1	58.4	62.6	51.9
		(2)	〔ソ（沿）って〕の書き方	50.0	86.6	86.6	87.6	55.1	47.8	68.4	55.4
		(3)	〔ゴクヒ（極秘）〕の書き方	50.0	66.5	66.5	66.5	55.5	53.2	59.6	55.6
三	臆	誤字訂正（臆→蔵）	40.0	31.0	31.6	20.5	17.6	16.7	17.5	18.8	
	感	誤字訂正（感→関）	50.0	29.0	29.1	27.3	9.1	9.3	7.1	10.2	
3	一	漢文訓読	70.0	35.8	36.4	26.1	33.9	39.2	37.4	23.2	
	二	正確な内容理解の選択	50.0	71.8	71.9	70.2	61.0	62.4	60.3	60.0	
	三	故事成語を用いた短文作成	40.0	29.2	29.2	28.0	41.4	49.6	51.5	24.9	
4	一	①	品詞の分類（副詞）	70.0	38.3	38.0	42.2	19.0	19.4	23.2	15.8
		②	品詞の分類（接続詞）	80.0	54.6	54.3	59.6	48.4	47.5	52.2	47.2
		③	品詞の分類（名詞）	50.0	40.8	41.0	37.3	29.2	25.8	32.7	31.2
	二	文の成分の理解	50.0	21.2	21.7	13.7	10.9	11.5	10.1	10.6	
	三	a	資料からの情報読み取り	60.0	43.1	42.9	45.3	49.9	47.8	57.2	47.6
b		資料からの情報読み取り	40.0	27.2	27.6	21.7	28.4	30.8	33.7	22.1	
5	一	語句理解の選択	65.0	50.0	49.5	57.8	49.7	48.9	50.8	50.0	
	二	情景描写の理解の選択	70.0	54.4	54.4	54.0	49.6	49.6	51.2	48.5	
	三	心情描写の理解の選択	40.0	34.8	34.7	36.6	43.1	42.8	50.5	38.5	
	四	擬音語・擬態語の効果の説明	50.0	35.1	34.7	41.0	40.0	35.5	47.5	40.7	
6	一	接続語の選択	65.0	73.2	72.7	81.4	74.1	72.4	76.4	74.7	
	二	行動描写の理解の選択	45.0	31.0	30.9	33.5	29.7	32.4	33.7	23.8	
	三	表現の仕方とその特徴の選択	45.0	52.3	52.3	51.6	49.7	48.9	55.2	47.2	
	四	図と文章の関連についての自分の考えの形成	50.0	28.0	27.8	31.1	29.2	28.5	29.3	29.9	
7		適切な情報を選択してまとめる	60.0	34.8	34.5	39.8	39.4	36.6	56.6	31.8	
教 科 全 体			56.9	50.4	50.4	50.8	46.2	45.8	50.6	43.7	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
70.4	66.8	83.0	81.4	61.5	73.8	71.1	79.5	73.3	71.3	72.5	66.7	77.8	77.5	79.1	73.9
40.1	38.3	43.0	45.6	39.6	34.7	33.4	34.4	35.7	37.7	38.8	33.3	35.1	34.6	36.9	36.6
23.8	23.5	21.8	30.3	21.5	25.0	24.9	30.1	22.9	21.3	21.6	20.3	27.0	27.0	26.7	25.8
95.2	95.4	95.5	94.2	94.6	96.0	95.6	97.3	95.8	94.9	95.7	92.0	96.2	96.4	95.5	95.5
94.7	93.3	96.1	97.4	98.1	95.4	94.3	96.8	95.5	98.6	98.6	98.6	97.0	97.0	96.9	96.4
94.3	94.8	91.8	97.1	91.9	94.2	94.3	95.5	93.5	92.9	92.2	95.7	95.1	94.9	96.0	93.9
62.5	61.6	60.3	73.7	58.5	67.5	69.1	70.1	65.2	69.9	71.6	63.8	73.0	73.9	69.5	67.4
69.2	68.8	66.1	74.1	70.4	69.0	63.7	75.5	70.1	69.9	70.4	68.1	79.8	80.2	78.4	74.2
70.4	74.0	64.5	67.2	62.3	72.4	74.6	71.2	71.2	64.7	64.9	63.8	75.6	76.6	71.6	69.0
22.7	21.6	21.2	28.1	25.0	24.1	26.3	24.3	22.5	40.7	42.9	32.6	32.5	33.6	28.0	27.6
15.5	14.5	17.9	16.1	16.9	23.5	27.6	23.5	20.5	26.9	30.0	15.2	35.3	36.4	31.3	24.6
30.3	29.8	14.5	46.2	36.9	32.1	38.1	40.8	22.0	32.6	33.1	30.4	33.7	33.3	35.5	33.3
63.3	60.5	62.4	78.8	62.7	63.7	67.0	63.7	61.3	69.6	73.1	56.5	62.3	61.5	65.6	65.3
31.8	26.0	39.1	45.6	38.1	28.3	19.4	49.1	24.2	20.1	16.9	31.9	33.7	34.5	30.4	31.5
19.7	18.3	20.9	29.6	14.6	21.5	31.8	25.9	12.4	21.8	23.1	16.7	35.2	35.6	33.6	28.0
42.8	43.4	41.5	48.9	35.0	39.8	51.4	39.7	31.6	43.7	46.1	34.8	52.6	52.0	55.2	48.1
33.2	33.6	19.7	51.1	29.6	31.2	41.4	32.3	23.5	32.9	34.5	26.8	41.5	40.1	47.1	36.1
12.9	12.6	7.3	21.5	12.7	12.2	14.4	15.5	9.2	15.6	18.0	6.5	24.2	25.7	18.4	17.3
40.0	37.6	25.8	62.8	46.9	41.3	39.3	48.5	39.6	36.4	38.0	30.4	42.3	42.9	39.8	42.4
26.2	24.1	23.9	35.4	30.8	30.3	26.5	36.8	30.2	27.5	29.8	18.8	32.6	32.7	32.5	29.0
50.2	49.2	50.3	55.8	49.6	53.5	55.4	49.9	53.7	49.7	50.6	46.4	52.6	52.7	52.0	51.2
53.7	52.7	56.1	59.1	50.8	52.8	54.6	49.1	53.0	55.9	56.1	55.1	53.8	54.4	51.8	53.4
37.3	35.2	39.1	48.2	34.6	45.0	43.9	57.6	40.4	29.9	28.8	34.1	42.3	43.1	39.1	39.4
37.2	35.7	49.7	42.3	24.2	37.8	40.9	49.1	30.8	23.8	24.1	22.5	36.3	36.4	35.6	36.2
71.0	69.9	76.1	75.9	65.4	71.6	75.3	70.1	69.6	71.6	73.1	65.9	72.5	72.8	71.3	72.4
29.6	25.3	43.3	33.6	30.4	35.5	38.6	42.1	30.5	25.5	28.0	15.9	33.0	32.9	33.5	31.5
52.6	51.1	50.9	60.9	53.8	48.8	51.5	50.4	46.3	48.0	50.2	39.9	52.9	53.3	50.9	51.4
28.8	22.9	39.1	40.5	34.2	35.2	34.4	40.0	33.8	19.9	20.6	17.4	35.2	35.8	32.9	30.7
32.9	29.7	37.3	43.4	32.7	42.9	41.8	49.6	40.8	38.3	39.0	35.5	45.9	47.1	41.1	39.1
46.6	45.2	46.8	54.7	45.6	48.4	49.8	52.0	45.7	46.6	47.7	42.6	52.1	52.3	51.0	49.0

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	3	1一	1三	45.4	56.7
書くこと	1			39.1	60.0
読むこと	12	3二、5二、 6一	3三、4三b、 6二、四	44.5	51.7
伝統的な言語 文化とその特 質に関する事 項	13	2一(1)~(3)、 二(1)~(3)	2三「臓」・「感」、 3一、 4一①、二	54.9	61.5

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す・聞く 能力	3	1一	1三	45.4	56.7
書く能力	1			39.1	60.0
読む能力	12	3二、5二、 6一	3三、 4三b、 6二、四	44.5	51.7
言語について の知識・理解 ・技能	13	2一(1)~(3)、 二(1)~(3)	2三「臓」・「感」、 3一、 4一①、二	54.9	61.5

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1三	25.8	40.0	質問の意図を理解していない(51.0)、無答(17.0)、 条件を満たしていない(8.0)
5四	36.2	50.0	「面白い」「楽しい」など、表面的なことにはか触れてい ない(37.0)、無答(14.5)、問題の意味を理解していない (9.0)、条件を満たしていない(8.5)
6	二	31.5	内容に即していない(33.5)、 条件を満たしていない(22.0)、無答(18.0)
	四	30.7	内容に即していない(30.0)、無答(25.5)、 条件を満たしていない(13.5)
7	39.1	60.0	条件を満たしていない(27.0)、無答(24.0)、 発表原稿になっている(8.0)、表記の誤り(2.0)

- 誤答の原因として、**1**三では、質問の意図を理解していない生徒が多かったことから、質問の内容に合わせて、考えをまとめる力が不十分であったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**5**四では、「面白い」「楽しい」など、擬態語や擬音語の表面的なことにしか触れていない解答が多かったことから、その描写の効果について理解する力が不十分であったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**6**二や**6**四では、内容に即していない解答が多かったことから、目的に応じて内容を捉える力が不十分であったことが考えられる。また、問題の条件を満たしていない解答が多かったことから、捉えた内容を条件に応じてまとめる力が不十分であったことが考えられる。
- 誤答の原因として、**7**では、条件を満たしていない解答が多かったことから、情報を資料から集め、構成を工夫しながら文章にする力が不十分であったことが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別及び評価の観点別にみた課題の1つ目としては、「話すこと・聞くこと」において、聞いたり読んだりしたことを踏まえ、自分の考えを広げながら話す能力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、観点を明確にした意見交流を行うことで自分の考えを深めていく工夫をすることが大切である。

指導例

聞いたことを生かして交流を充実させる指導 ～単元名「意見発表会をしよう」～

【指導の流れ】

- 1 単元の導入段階でモデルや指導計画、意図等を生徒に示し、見通しをもたせる。



この単元では自分の意見を相手に伝えるためにはどのようなことが必要なのかを「話し手の立場を明確にする・聞き手が納得する適切な根拠やその具体例・分かりやすい話の構成」について学んでいきましょう。
具体的には、最初に「共通テーマ」に沿って、自分の意見を考え、相手に伝わるよう発表メモを作成し、グループ内で「ミニ発表会」を開きます。その後、自分が伝えたいテーマで発表メモを作成し、「意見発表会」を開きます。

【共通テーマ】 「テストで使う筆記用具は、鉛筆とシャープペンシルどちらがよいか」

【条件】 ・発表時間は5分以内・話し手の立場を明確にすること・聞き手が納得する適切な根拠やその具体例を入れること・分かりやすい話の構成を工夫すること

【学習計画】

- 1次…①単元の見通しをもつ。
- 2次…②発表原稿を作成する。③グループ内でミニ発表会を開き、内容について検討する。
- 3次…④自分でテーマを決め、意見発表に向けた準備をする。⑤意見発表会を開く。

ポイント

前年度の発表会のビデオや教師のモデル発表などを見せることで、発表会とはどんなものか（発表時間、発表スタイル、相手や場、シチュエーションなど）、を生徒に具体的にイメージさせる。

2 ミニ発表のための準備をさせる。

学習活動① 既習事項を想起しながら、発表の観点を確認する。



これから意見発表に向けて準備をしますが、発表の観点到沿って、聞く人にしつかり伝わるよう工夫してもらいます。そのヒントとなるのが今まで学んできたことにたくさん含まれています。

発表の観点

- ①話し手の立場は明確か
- ②意見の根拠となる具体例があるか
- ③内容構成は適切か

学習活動② テーマに沿った内容について、観点を意識しメモを作成する。

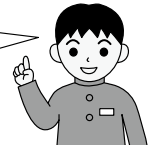
3 ミニ発表会を開き、それぞれの発表を観点到沿って評価させながら意見交流を行わせる。

学習活動① 発表の観点到沿ってそれぞれの発表を聞き、よい点、改善点などについて意見を出し合う。



それでは最後ですが、観点到③について、みなさんからよかった点、改善した方がよい点を話してください。

「鉛筆の方がよい」という立場とその根拠を双括型の構成で最初と最後に述べていました。自分の意見が相手に強く伝わるよう構成に工夫があつてよかったと思います。



「鉛筆がよい」という立場を最初と最後にはっきりと示していたのがよかったと思います。ただ、「シャープペンシルの方がよい」という人への説得力が弱いと感じたので、鉛筆のよさをさらに強調できるように、「反論に対する意見」を取り入れたらどうでしょうか。

ポイント

観点到一つ一つについて検討していくような工夫や司会者の設定、自由な雰囲気て意見を出させるなど、活発に意見交流をさせる。

学習活動② 個人やグループでこれまでの活動て学んだことを振り返り、自分の意見を相手に伝える際に重要なことを確認する。

4 ミニ発表会での経験を生かし、「意見発表会」に向けた準備をさせる。

学習活動 自分でテーマを決め、テーマに沿った内容について、最初に示された観点到や前時て学んだ重要なことを意識し、メモを作成する。

ポイント

初めて行う場合は、生徒にとって、意見を発表しやすいもの（小学校でも取り上げられている内容である「賛成・反対」などや「身近なもので、話し手、聞き手が容易に想像しやすいもの」など）にして、単元のねらいである「観点到を生かした意見交流」を活発にさせる。

5 意見発表会をさせる。

学習活動① 意見発表会をし、グループ内で評価し合う。

学習活動② 単元の学習を振り返り、学んだことを確認する。

「活用」に関する問題の課題としては、複数の資料から情報を得て、問題意識をもったり、新たな発想を得て自分の考えをまとめたりすることが挙げられる。

今後の指導においては、「書くこと」の指導において、社会生活の中にある情報を自分と結び付けて考え、新たな気づきや、問題意識をもたせ、自分の考えを具体的に書かせることが大切である。

指導例

複数の資料から情報を得て、自分の考えを具体的に書かせる指導 ～単元名「意見文を書く～情報パズルを組み立てよう！」～

【指導の流れ】

- 1 新聞のコラムなど身近な意見文をモデルとして例示し、学習の見通しをもたせる。
- 2 インターネットに関する資料1、2、3を活用し、2つ以上の資料の情報を関連させて、考えたことや疑問に思ったことをノートに書かせる。

資料1…インターネットの利点や可能性、活用事例などを取り上げた文章

資料2…インターネットの問題点や予想される課題、実際のトラブルの事例などを取り上げた文章

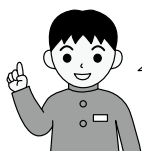
資料3…インターネットの利用者数や人口普及率等の推移を示すグラフ

学習活動① 資料1、2、3を読み、2つ以上の資料の情報を関連させながら自分の考えをノートに書く。

複数の資料から適切な情報を取り出し、それらを関連させながら、新たに考えたことや、疑問に思ったことをまとめてみよう。



学習活動② ①のノートを基に、どのような情報を関連させながら書いたのかを小グループで交流し、自分の考えを広げる。



ぼくは、資料1を読んで、インターネットの便利さに改めて気付きました。また、資料3のグラフからは、[中略]インターネットの活用が大切だと感じました。

私は、資料2を読むと、インターネットの危険性や、情報の扱い方について慎重になる必要があると強く感じます。資料3からは、[中略]トラブルなども多くなっているのではないのでしょうか？



- 3 話し合いを通して、新たに考えたことや疑問に思ったことを踏まえて、自分の考えをより具体的にまとめさせるとともに、書いた内容を確認させるなど振り返りをさせる。



改めて情報を整理したり、他の情報を関連付けたりしながら自分の考えを書いてみよう。

ポイント

話し合いを通して互いの考えを交流させ、新たな発想を得させるとともに、自分の書いた内容について確認させるなど、振り返りをさせる。

学習活動③ 交流した内容を踏まえ、新たな考えや疑問をノートに書き加える。



ぼくは、右の下線部のようにノートに書き改めました。

僕たちの生活にとってインターネットは欠かすことができない便利な道具だ。資料1の記事を読むと、[中略]ているということだ。以上のことから、~~今後、インターネットは、より多くの人が、より多くの場面で使ってい~~くことになると思う。

しかし、だからこそ、インターネットを正しく使うことができるように情報の集め方を学んだり、[中略] SNSについても調べてみたいと思う。

内容・領域別及び評価の観点別にみた課題の2つ目としては、「読むこと」において、描写の効果を考え、捉えた内容や条件に応じて自分の考えをまとめる力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、学習活動の中で、教材文を読むこととともに、学校図書館を活用し、自ら選んだ本を読む場面を取り入れるなど、読む活動と実生活とを結び付けることが大切である。

指導例

描写の効果を考え、自分の考えをまとめる力を高める指導
～単元名『私のお気に入り物語リーフレット』に掲載する文を作るために、
心に響くお薦めの描写を見付け、推薦文にまとめよう～

【指導の流れ】

- 1 教師がモデルを示して、生徒が取り組んでみたいという課題意識を高めながら、教材文全体を読んで、学習内容の見通しをもたせる。(1時間目)

ポイント

生徒が何のためにその学習活動を行うのかを理解させて取り組ませる。

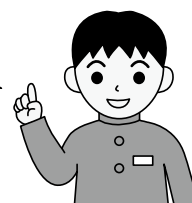
- 2 教材文から自分の心に響くお薦めの描写を見付けて、惹かれる理由を明らかにし、自分の考えをまとめさせる。(2時間目)

学習活動 教材文から、自分の心に響くお薦めの描写を見付けて、惹かれる理由を明らかにし、自分の考えをノートにまとめる。



『私のお気に入り物語リーフレット』の推薦文に掲載したい、心に響くお薦めの描写を教材文から見付けよう。なぜ、惹かれたのかを考え、自分の考えをノートにまとめておきましょう。

○○という描写は、読者に臨場感を与える表現だな。△△は、登場人物の気持ちが大きく変わっていくところに使われている描写だから、ぜひ、みんなにも知らせたいな。



- 3 教材文から自分が選んだ描写について、惹かれる理由がはっきりしない場合は、同じ描写を選んだ級友と交流し、その理由を明らかにさせる。また、その描写に惹かれる理由がはっきりしている場合は、異なる描写を選んだ級友と交流し、視点を広げ、自分のお薦めの物語の推薦文に生かす手がかりをつかませる。(3時間目)
- 4 並行読書で自分が推薦しようとしている物語から心に響くお薦めの描写を見付け、『私のお気に入り物語リーフレット』に掲載する推薦文とその理由をまとめさせる。(4時間目)

ポイント

- ・教材文の読みにとどまらないようにし、学校図書館の活用と関連させ、並行読書している本を取り上げる時間を学習過程に位置付けるなどして活動させる。
- ・描写の効果を考え、自分の考えをまとめる力を高めることができたかについて、振り返りをさせる。

内容・領域別及び評価の観点別にみた課題の3つ目としては、「読むこと」において、目的に応じて内容を的確に捉え、それを基に自分の考えをまとめる力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、「何が書かれているか」を的確に読むだけでなく、目的に応じて読み取った情報を活用し、自分の考えを形成させていくことが大切である。

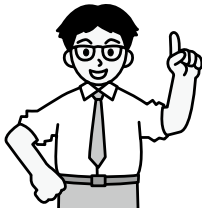
指導例

相手の理解を助けるために、必要な資料を加えて説明させる指導
～単元名「情報をプラスして、『奥の細道』冒頭文を分かりやすく説明しよう」～

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせるよう配慮しながら、「奥の細道」冒頭文を読ませ、相手の理解を助けるために資料が必要な部分を見つけさせる。

学習活動① 学習の見通しをもち、「『奥の細道』冒頭文」を読む。



文化祭の教科発表で、「『奥の細道』冒頭文」の内容のプレゼンテーションをすることになりました。
この単元では、「冒頭文の内容について、相手の理解に役立つ情報をさらにプラスして説明すること」を通して、「文章に表れているものの見方や考え方について、知識や経験と関連付けて自分の考えをもつ力」を付けていきます。

ポイント

現代語訳や解説した文章なども提示し、原文と合わせて読ませる。

学習活動② 「『奥の細道』冒頭文」の中で、不思議に思ったことや疑問に思ったことを話し合う。

「相手の理解を助けるために資料が必要な部分」を見付けるために、冒頭文の内容について、不思議に思ったり、疑問に思ったりしたことを話し合ってみましょう。



旅の準備で、「ももひきの破れをつづり」「笠の緒付けかへて」「三里に灸すゆるより」のように、身に付ける物の準備や健康管理をするのは分かるけど、「住める方は人に譲り（住んでいた家は人に譲り）」ということまでしてしまうのが、なぜだろうと疑問に思いました。

ポイント

芭蕉の言動や心情について感じたことや、自分たちが経験した旅行などと比べて、不思議に思ったり、疑問に思ったりすることはないか話し合わせる。

2 「資料が必要な部分」について、相手の理解を助けるためにふさわしい情報を集め、資料を作らせる。

学習活動① 「1 - **学習活動②**」で挙げた部分について、学校図書館やインターネットを活用しながら、相手の理解を助けるための情報を集める。

芭蕉は、「奥の細道」をまとめるために、2,400キロの旅を半年間もしているわ。そんなに長距離・長期間の旅だと、途中で何が起こるかわからないわね。家には戻らない覚悟で旅に出るのかも…。



学習活動②

集めた情報を使って、相手の理解を助けるためにふさわしい資料を作る。

期間	目的		旅の比較表
半年間 旅の途中、何が あるかわか らない。 家にはもう戻 らない。 「住める方は人 に譲りて」	「日々旅にして 旅を栖とす」 旅が日常生活 の。	旅は人生そのも の。 旅が日常生活。 特別な日程。 日常生活から抜 け出す。	
	一泊二日や二泊 三日など。 最後は、家に帰 ってくる。		

ポイント

資料を作る際には、相手の理解がより進むように、次のような工夫をさせる。

- ・芭蕉と自分たちとを比較して、違いが明らかになるようにする。
- ・冒頭文中に根拠となりそうな表現がある場合は、資料に取り入れる。
- ・図や表を取り入れ、見やすくする。

3 資料を添えてプレゼンテーションを行わせ、交流させる。**学習活動**

グループでプレゼンテーションを行い、考えたことや気付いたことなどを述べ合い、交流する。

ポイント

「資料を添えることで、内容の理解がどのように深まるのか」という観点で、交流を行わせる。また、交流を踏まえ、自らのプレゼンについて振り返りをさせる。

キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」及び「言語についての知識・理解・技能」においては、おおむね良好である。しかし、「話すこと・聞くこと」及び「話す能力・聞く能力」においては、聞き取った内容と関連付けながら自分の考えをまとめる力が十分とは言えない。また、「読むこと」及び「読む能力」においては、目的に応じて内容を捉えたり、条件に応じて自分の考えをまとめたりする力が十分とは言えない。

今後は、「話すこと・聞くこと」の指導において、話し手の意図や、資料等の具体例及び根拠、話す内容の構成等を観点として設定し意見交流させるなど、より効果的に話す力・聞く力を高めていく授業を行うようにしたい。

また、「読むこと」の指導においては、目的に応じて内容を捉え、その内容に基づいて自分の考えをまとめていく指導を行うとともに、学校図書館を活用し自ら選んだ本を学習に取り入れるなど、より主体的な学習が展開されるようにしたい。

いずれの指導においても、学習の見通しと振り返りを効果的に位置付けた授業づくりを進めることが重要である。

「活用」に関する問題も含めて総括的にみると、問いや条件に合わせて資料を整理したり、問題意識や新たな発想を得たりすることが十分とは言えない。

今後の指導においては、言語活動を指導の中に位置付け、社会の中にある情報を自分と結び付けて考えたり、新たな気付きや問題意識をもたせたりしながら、思考・判断し表現する活動を増やす指導を計画的に進めることが大切である。